

スプラサイド乳剤1000倍散布



ゴマダラカミキリは10%しか死なず、生き残ったものはよく葉を食べ、たくさん糞をして元気

ダントツ水溶剤2000倍散布



ゴマダラカミキリは90%が死んだ。葉が食べられたあとや糞がないのは効果がある証拠

抵抗性はないと思いついて

ミカンにつくゴマダラカミキリは、6月には枝葉をかじり、7月には樹の幹に産卵します。その後、幼虫が樹の内部を侵食し、樹勢が弱ったり枯死してしまいます。当地でも高齢化で放任園が増えたことで、年々ゴマダラカミキリが増えていきます。近年は温暖化の影響により発生時期が早く、成虫が飛



ゴマダラカミキリの成虫 (新井眞一撮影)

現場発 ミカンの農薬と ホルモン剤の 使い方 4

ゴマダラカミキリにも 抵抗性がついていた！

坂田寛樹

び始める6月上中旬から防除を開始している状況です。

J Aながみねの下津管内では6月7月のゴマダラカミキリ防除で、有機リン剤やネオニコチノイド剤を長年すすめてきました。下津町はカンキツの大産地なので薬剤抵抗性がつきやすく、チャノキイロアザミウマ、ハダニ、サビダニは毎年薬剤効果試験を行なっています。しかし、これまでゴマダラカミキリについては抵抗性の問題はないと信じ、試験をせずに防除していました。農家も、6月のゴマダラカミキリ

とカイガラムシの防除はスプラサイド(有機リン)という頭があります。

700匹集めて試験

昨年、ゴマダラカミキリにエクシレル(ジアミド系)の薬剤効果がどの程度あるのか試験してほしいとメーカーに依頼されたのがきっかけで、薬剤効果試験を実施しました。

試験に使うゴマダラカミキリは、J A発刊のカンキツ栽培月刊誌「からたち」で農家に呼びかけて集めました。ゴマダラカミキリ一匹につき手袋一つ

ブラムシやアザミウマに登録があり、同時防除ができそうな薬剤でも試験をすることにしました。

有機リン系に抵抗性があった

薬剤は直接虫にかかり殺虫する接触剤、枝葉にかかった薬剤を食べて殺虫する経口剤に分かれます。45の試験区

を設け、選定した15薬剤それぞれの接触と経口効果の両方を調査しました。接触効果の調査はハンドスプレーをゴマダラカミキリに直接3回噴霧。経口効果の調査はミカンの枝葉に散布後、乾かしてからゴマダラカミキリと一緒に衣装ケースに入れて試験しました。結果は、ネオニコチノイド系は全般

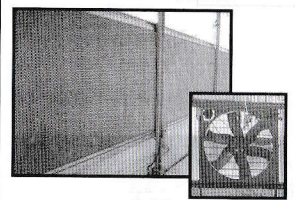
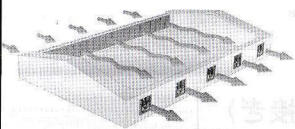
温室・畜舎 気化冷却システム

なら

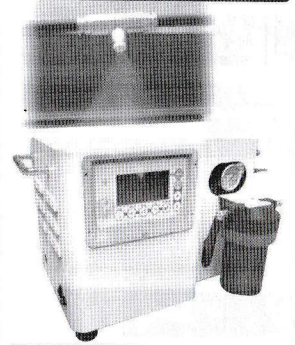


株式会社 イー・エス・ウォーター・ネット

パッド&ファン



細霧冷房



高圧ポンプ細霧冷房やパッド&ファンなどご要望に応じて最適なシステムを提案します！
お気軽にお問い合わせ下さい。

株式会社 イー・エス・ウォーター・ネット

本社/TEL:042(355)7702
http://www.es-waternet.co.jp/

ザミウマとゴマダラカミキリの防除にはアドマイヤー、カイガラムシの防除にはスプラサイドを使うようにと指導してきました。チャノキイロアザミウマにアドマイヤーを使うのは、毎年やっている薬剤効果試験の結果で、この地域で有効だと判断したからです。近年は山際ではない園地でもチャノキイロアザミウマを見かけるようになり、どここの園地でも「アドマイヤー入れたほうがええで」とすすめています。しかし実際は、発生しやすい山際や防風樹に近い園地以外ではチャノキイロアザミウマへの意識が弱く、アドマイヤー

ーを入れない農家が多いのが現状です。そしてゴマダラカミキリについては、カイガラムシに対して使うスプラサイドでも防除できると、農家も私も思っていました。しかし、今回の試験を受けて、今後はゴマダラカミキリに困る園地では、チャノキイロアザミウマの対策としてだけ考えられがちなアドマイヤーを「入れたほうがええで」から「絶対入れなアカンで」という指導に切り替えていこうと思っています。ただ、講習会などで今回の試験結果を報告すると、「6月はもう有機リン

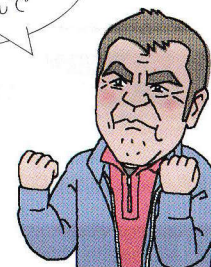
剤は使えんなあ」と言う農家が多いのですが、これは間違いです。ゴマダラカミキリに効果がなくても、有機リン剤はミカンナガタマムシやヤノネカイガラムシなどの害虫に効果があり、防除には欠かせない薬剤だからです。地域によって薬剤抵抗性は違ってくるので、薬剤の効果も違ってきます。こうした薬剤試験を通して、これからこの地域に合った防除を考えていくつもりです。

(JAながみね・しもつ営農センター)

6月の害虫防除

6月10 ～ 20日	カイガラムシ類	スプラサイド乳剤 1000倍
	チャノキイロ アザミウマ	アドマイヤーフロアブル 3000倍
	ゴマダラカミキリ	
	ミカンハダニ	ハーベストオイル200倍

ゴマダラカミキリに
困ったら、
アドマイヤーを
入れなアカンで



試験に使った15剤

() 内は系統IRAC

キラップ (フェニルピラゾール 2B)
ロディー (ピレスロイド 3A)
アドマイヤー (ネオニコチノイド 4A)
アクタラ (ネオニコチノイド 4A)
ダントツ (ネオニコチノイド 4A)
トクチオン (有機リン 1B)
スプラサイド (有機リン 1B)
カルホス (有機リン 1B)
ダズバン (有機リン 1B)
エルサン (有機リン 1B)
エクシレル (ジアミド 2B)
ハチハチ (METI 剤 2A)
トランスフォーム (スルホキシミン 4C)
ファインセーブ (不明)
オリオン (カーバメート 1A)

に効果が高く、ジアミド系のエクシレルも有効でした。なかでも、ネオニコチノイド系のアドマイヤーとアクタラは経口効果が高く、ダントツは経口・接触ともに効果が高いことがわかりました。一方で、これまですすめてきた有機リン系(スプラサイド、エルサン、ダズバン)は1000倍で効果が

500倍でも散布したり、薬液にゴマダラカミキリを浸したりしてみました。が、効果が劣る傾向となり、下津町における薬剤抵抗性が見られました。今後、下津町ではスプラサイド、エルサン、ダズバンは、ゴマダラカミキリを対象にした使用は、考え直す必要があります。しかし、有機リン系の中でも、古い

抵抗性は地域ごとに違う

薬剤であるカルホスは抜群の効果がありませんでした。カルホスは購買部から「有効期限切れ薬剤で在庫処分だから」と渡され、ついにて試験をしたノーマーク薬剤です。今後、他の害虫でも試験を行ない検討しようと思っています。

これまでも、6月のチャノキイロア